令和8年度 安全計画表

【基本方針】

お子さまの生命と身体の安全を最優先とし、室内・戸外における事故やトラブルを未然に防ぐため、日常的な点検・配慮と定期的な見直し・教育を徹底します。

1. 月別・季節別 重点安全計画

月	重点テーマ	主な実施・点検項目
4月	環境整備と基本ルールの確認	● 室内・戸外の安全点検、緊急連絡先の確認・更新 ● 誤飲・窒息リスクのある物品や遊具の点検・整理
5月	戸外活動・交通安全の徹底	● 散歩経路の安全確認、交通ルールの遵守（手をつなぐ、ベビーカー点検等） ● 公園の遊具・地面の安全点検（破損、危険物の確認）
6月	衛生管理と水回り・食事の安全	● 食中毒予防、食事介助時の手洗い・温度確認・食材刻み等の配慮 ● 沐浴・お風呂介助の安全手順確認（湯温38～40℃、目を離さない）
7月	熱中症対策と水遊び安全	● 屋外活動時の水分補給・日陰利用・短時間行動の徹底 ● 室内での適切な室温管理・エアコン風向調整
8月	夏季の体調管理と午睡安全	● SIDS（乳幼児突然死症候群）予防の睡眠チェック徹底（仰向け寝、スタイ外す等） ● プール・水遊び時の見守り体制・すべり止め等の再確認
9月	防災・不審者対策の強化	● 避難訓練の計画実施、不審者・迷子対策のルール徹底 ● 家具の転倒防止・コーナーガードの再点検
10月	戸外活動の安全と感染症予防	● 秋の外出時の防寒・服装確認、落ち葉・遊具の安全チェック ● 手洗い・うがい・換気の徹底
11月	誤飲・喉詰め事故防止の再確認	● 喉に詰まりやすい食材（ミニトマト、ぶどう、ナッツ等）の調理工夫・給食介助徹底 ● 小さなおもちゃ・ビニール袋・ひもの放置防止
12月	暖房器具の安全と火傷・感電防止	● 暖房器具・ストーブガードの設置、コンセントカバーの点検 ● 電気ポット・加湿器など熱を発生する家電の配置確認
1月	冬季のヒートショック・湯冷め対策	● 脱衣所・浴室の室温管理、沐浴後の湯冷め防止 ● 床の滑り止めマット・ラグの固定確認

月	重点テーマ	主な実施・点検項目
2月	室内の危険物管理と安全点検	● 薬品・洗剤・刃物・工具の保管場所・施錠状態の再チェック ● 室内全体の破損・ぐらつき点検
3月	1年間の安全振り返りと引き継ぎ	● 安全チェックリストおよび各種記録の整理・次年度への引き継ぎ

2. 日常安全管理計画（領域別）

区分	点検・管理基準
① 室内環境の安全管理	● 危険物・薬品：薬品・洗剤・刃物・工具・タバコ等は手の届かない施錠可能な場所に保管。 ● 誤飲・窒息防止：小さな部品やビニール袋・ひも、有毒な観葉植物を排除。 ● 転倒・火傷防止：家具のコーナーガード設置、コンセントカバー装着。家電（ポット・炊飯器・加湿器等）は手の届かない高所に設置。 ● 換気・室温：定期的な換気と適切な温度・湿度管理。
② 食事・おやつ介助の安全	● 準備：手洗い・手指消毒、食事の適温確認、椅子のベルト装着。 ● 誤嚥・喉詰め対策：喉に詰まりやすい食材（ミニトマト、ぶどう、こんにゃくゼリー等）は細かくカット・調理を工夫。もちやナッツ類等の危険食材は避ける。 ● 食事中：必ず目を離さず、正しい姿勢・ペースで咀嚼を促し、水分補給を行う。
③ 沐浴・お風呂介助の安全	● 準備：室温調整、湯温（38～40℃）の手による確認、必要物品の事前配置、滑り止め施工。 ● 入浴中・後：どんな短時間でも絶対に目を離さず、体をしっかり支え、過度な長湯を避ける。上がったら素早く体を拭いて保温し、体調や顔色の変化を確認。
④ お昼寝（午睡）の安全	● 寝床環境：硬めの寝具を使用し、柔らかすぎる毛布やクッション・ぬいぐるみを排除。スタイは外す。 ● 体制・見守り：仰向け寝を徹底し、睡眠チェックシート（育児119睡眠チェックシート）を用いて呼吸・顔色・体温等を定期的に確認・記録。
⑤ 戸外活動の安全	● 出発前・移動：天候に合わせた服装・着替え・水分の準備。車道での手つなぎ・交通ルールの遵守。 ● 現場安全：公園到着時に遊具の破損・地面の危険物（ガラス片等）を事前点検し、死角を作らず視界に入れる。 ● 熱中症・防犯：こまめな水分補給と休憩、不審者・迷子対策の周知。